

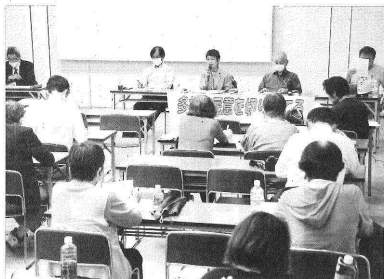
議員定数削減は民意切り捨て

大阪市議会
定数削減案

よくする会と民法協が緊急シンポ

問題浮き彫り 中止を

18日開会した大阪市議会、大阪維新の会が議員定数の削減別項を進行しようとしていることに対し、大阪市をよくする会と民法協が20日夜、緊急シンポジウムを開きました。大阪市北区内の会場に41人が参加し、ユーチューブの生配信は約5万回。多様な市民の民意を切り捨てる市議員定数の削減中止を求める決議を採択し、定数削減の問題点を多くの市民に知らせ、削減中止を求める陳情書を提出することを確認しました。



維新の議員定数削減に反対して開かれた緊急シンポジウム＝20日、大阪市北区内

よくする会の福井明事務局長の進行で、民法協事務局長の西川大史弁護士、日本共産党の山中智子大阪市議団長、全大阪生活と健康を守る会連合会の大口耕吉郎会長、大阪経済大学の柏原

誠准教授が、それぞれ報告しました。
チエックされる
首長が削減主導
西川氏は、維新は定数削減を「身を切る改革」

維新の議員定数削減案

大阪維新の会は市議会
会合会派に、総定数を減行81から70へと11削減する案を示している。削減が狙われている選挙区は次の通り。
○定数6→5 平野区
○定数5→4 住吉区、城東区、東淀川区、東住吉区、住之江区、北区
○定数3→2 東成区、西淀川区、旭区

「逆転現象」などの解消に取組み、先の市議選は20年の国勢調査結果から削減で実施されたこと報告。維新の削減案は同じ国勢調査結果で4年後の定数を決めるなど、全く道理がないと批判しました。

削減は恣意的で、一票の格差も逆に広がる指摘。二元代表制や議会を否定し、維新の首長が決めたことだけが進めば、市民の声、とくに弱者の声が届かなる一と強調し、定数削減反対で市民と共に頑張ると述べました。

削減は恣意的で、一票の格差も逆に広がる指摘。二元代表制や議会を否定し、維新の首長が決めたことだけが進めば、市民の声、とくに弱者の声が届かなる一と強調し、定数削減反対で市民と共に頑張ると述べました。

削減は恣意的で、一票の格差も逆に広がる指摘。二元代表制や議会を否定し、維新の首長が決めたことだけが進めば、市民の声、とくに弱者の声が届かなる一と強調し、定数削減反対で市民と共に頑張ると述べました。

削減は恣意的で、一票の格差も逆に広がる指摘。二元代表制や議会を否定し、維新の首長が決めたことだけが進めば、市民の声、とくに弱者の声が届かなる一と強調し、定数削減反対で市民と共に頑張ると述べました。

削減は恣意的で、一票の格差も逆に広がる指摘。二元代表制や議会を否定し、維新の首長が決めたことだけが進めば、市民の声、とくに弱者の声が届かなる一と強調し、定数削減反対で市民と共に頑張ると述べました。

削減は恣意的で、一票の格差も逆に広がる指摘。二元代表制や議会を否定し、維新の首長が決めたことだけが進めば、市民の声、とくに弱者の声が届かなる一と強調し、定数削減反対で市民と共に頑張ると述べました。

削減は恣意的で、一票の格差も逆に広がる指摘。二元代表制や議会を否定し、維新の首長が決めたことだけが進めば、市民の声、とくに弱者の声が届かなる一と強調し、定数削減反対で市民と共に頑張ると述べました。